



著者プロフィール

堀切克洋（ほりきり・かつひろ）

1983 年 福島市生まれ
2011 年 「銀漢」入会、14 年同人
2014 年 第 6 回石田波郷新人賞奨励賞
2015 年 第 6 回北斗賞準賞
2016 年 第 3 回俳人協会新鋭評論賞大賞
2017 年 第 8 回北斗賞
俳人協会会員

〈句集『尺蠖の道』より転載〉
〈2018 年 9 月 14 日時点〉

『尺蠖の道』（自選15句）

堀切 克洋

紅梅を絵筆の先にふくらます
恋猫のたとへばかの子ほどの恋
死化粧のごとき紋白蝶来る
鳥雲に結婚離婚すべて紙
胸に抱く子と春眠をわかちあふ
母の日の永遠といふパーマかな
行先を食べはじめたる蝸牛
シャンパンの函は棺に似て晩夏
名月に近づいてゆく昇降機
露の玉こはるるまでを歪みけり
畳まれて沖とほくある屏風かな
よく喋るひとり毛糸編みながら
熱燗や師より聞くその師の話
着ぶかれて七人がけに七人が
ラグビーの天地遍く使ひけり